

延命寺遺跡裏手の発掘調査現地説明会・鎌原史跡巡りガイドが行われました

令和5年8月6日(日曜日)に、延命寺遺跡裏手の発掘調査現地説明会並びに鎌原村内史跡巡りガイドが午前・午後2回行われました。

延命寺遺跡裏手の鎌原土石なだれの押しきつば痕跡の状況、また延命寺裏側の切り立った断崖などの痕跡が詳細に明らかにされました。

県内、県外からの一般の方々・専門の方々など(午前と午後合わせ63名)の参加いただきました。



発掘調査現地説明会に引き続き、資料館ボランティアガイドによる案内で鎌原村内史跡巡りを行いました。

天明泥流の痕跡、村の再興の足跡、ド根性で生きてきた樹木、また鎌原観音堂の悲劇の石段などをわきあいあいと参加者の皆様方と共に巡りました。

参加者の方からは、非常に専門的な質問も出され、ボランティアガイドとして身の引き締まる思いも致しました。

鎌原観音堂周遊マルシェが開催されました



令和5年10月8日(日曜日)、鎌原地区内で、鎌原観音堂周遊マルシェが開催されました。婦恋の特産品、特産料理など多数のお店が鎌原地区内に出店されました。これらを巡っておいしい食事や珍しい品々を楽しむマルシェでした。

郷土資料館でも共催事業として、マルシェ巡り参加者を対象として無料ガイドを実施いたしました。家族連れをはじめとして、大勢の方々に郷土資料館の案内をさせていただきました。



令和5年度「お月見の会」が開かれました



令和5年9月29日(金曜日)午後7時から恒例のお月見の会が 嬭恋郷土資料館3階展望室で23名参加のもと開催されました。

資料館友の会副会長黒岩秀二氏の開会で始まり、資料館館長 関俊明氏より御挨拶をいただきました。引き続き、資料館友の会会長宮崎光男氏より「月についてのお話一月を愛でる」と題した講話をお聞かせいただきました。予定しておりました 星空観察は残念ながら天候の関係上、中止となってしまいました。

「群馬県民の日」記念 講演会が開催されました

令和5年10月28日(土曜日)、「群馬県民の日」記念事業として講演会が嬭恋郷土資料館研修室にて開催されました。群馬の災害文化の基層を探る「群馬県には歴史災害の経験があるから」を演題として郷土資料館 関俊明館長より災害の歴史を知ることによる防災・減災の大切さについてのお話をいただきました。10名の方々の聴講をいただきました。

令和5年度資料館友の会村外研修が実施されました

11月23日に埼玉県本庄市児玉町小平にある成身院百体観音堂(日本三大栄螺堂といわれている)へ総勢11名で行ってきました。小平の里から直線でおよそ70kmの距離にある白い浅間山を眺めることができました。この百体観音は、この寺の元真和尚が天明3年浅間押しの時、利根川を流れ下っていく遺体を目にし、経をあげ供養をしました。寺に戻り百体観音を建立して、さらに供養をしようと考えました。この百体観音(栄螺堂)は浅間山噴火災害被災者を供養するために建てられました。11月23日は例祭日で毎年浅間山噴火被災者を供養しています。私たち友の会も例祭に参加して護摩を焚き、一緒に供養をさせていただきました。境内では彼岸桜、山茶花が咲き、みかん、



柚、柿がなっていました。小平の落ち着いた穏やかな里での供養は、感銘深く心の奥に刻まれました。

その後に、利根川近くの深谷市下手計にある渋沢栄一記念館に行き、彼の偉業をガイドの方からいろいろ聞きながら知ることができました。深谷ネギの産地で、畑にたくさん植えられていました。その畑は、天明3年の浅間押しの時、泥流が流れ下った畑でした。

天明3年の浅間押しを2か所の視察で得るものがたくさんありました。

(資料館友の会会長宮崎光男氏 記)



連載(10) 孺恋村の文化財 二ホンカモシカ (国指定 特別天然記念物)

二ホンカモシカは偶蹄目ウシ科カモシカ属に分類し、本州、四国、九州の標高500～2,000mの山岳地帯に生息します。孺恋村では、四阿山(吾妻山)、万座山、白根山などの森林や岩場でよく見られます。冬になると、しばしば村中でも見られ民家の近くまで降りてくることがあります。体長は1～1.2mほどで、体毛は灰色や茶色など地域によって色が異なります。急な斜面や崖も登ることのできるひづめを持ち、木の葉や芽、皮、草などを食べて生活します。縄文時代より、狩猟の対象とされていたようで各地の遺跡から骨の発掘も見られます。



昭和30年代には日本では3000頭ほどに減少していた二ホンカモシカですが密猟などの規制により今では10万頭近くになっているそうです。二ホンカモシカは氷河時代から棲息していたと考えられ「すいえん生きた化石」とも言われます。それゆえに世界の動物園では垂涎の的の一種となっていますが、飼育は簡単ではなくごく少数の動物園でしか見られない貴重な二ホンカモシカとなっています。

(昭和9年5月1日に天然記念物、昭和30年2月15日特別

おしらせ



郷土資料館周りの植栽・境界柵工事が完了します。

資料館南側駐車場からは鎌原地区の村並みがすっきりと見渡せるようになり、歩道の敷石、階段も整備されました。

皆様も資料館と共に一度お出かけください。

編集担当より

令和5年も郷土資料館友の会・ボランティアガイド会の皆様方のご支援、ご協力を賜り、様々な行事を執り行う事が出来ました、深く感謝申し上げます。

新年を迎えます皆様方のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。